



OpenShift Dedicated 4

アドオンサービス

サービスの OpenShift Dedicated への追加

OpenShift Dedicated 4 アドオンサービス

サービスの OpenShift Dedicated への追加

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Add-on_services.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

サービスの OpenShift Dedicated クラスターへの追加

目次

第1章 OCM コンソールの使用によるクラスターへのサービスの追加	3
1.1. サービスのクラスターへの追加	3
1.2. クラスターにインストールされたサービスへのアクセス	3
1.3. OCM からのサービスの削除	4
1.4. CLI からのサービスの削除	4
第2章 OPENSIFT DEDICATED で利用可能なアドオンサービス	5
2.1. RED HAT OPENSIFT API MANAGEMENT	5
2.2. RED HAT CODEREADY WORKSPACES	5

第1章 OCM コンソールの使用によるクラスターへのサービスの追加

1.1. サービスのクラスターへの追加

OpenShift Cluster Manager (OCM) を使用して、既存の OpenShift Dedicated クラスターにサービスを追加できます。

前提条件

- OpenShift Dedicated のクラスターを作成し、プロビジョニングしている。
- クラスターは、クラスターに追加するサービスに関するすべての前提条件を満たしている。
- 有料アドオンサービスの場合は、以下の考慮事項に注意してください。
 - 組織に十分なクォータがあり、サービスがクラスターと互換性がある場合、サービスは OCM に表示されます。
 - 組織にクォータがない場合や、クラスターの互換性がない場合、サービスは表示されません。
 - 組織が過去にクォータを持ち、クォータが現在 **0** の場合は、サービスが表示されたままとなりますが、追加のクォータを取得するまで OCM では無効になります。



注記

サービスをクラスターに追加するには、クラスターの所有者である必要があります。

手順

1. **OCM** の **Clusters** ページに移動します。
2. サービスを追加するクラスターを選択します。
3. **Add-ons** タブをクリックします。
4. 追加するサービスオプションをクリックし、**Install** をクリックします。インストールアイコンが表示され、サービスがインストールを開始したことを示します。
インストールが完了すると、サービスオプションに緑色のチェックマークが表示されます。ブラウザを更新してインストールのステータスを確認しないといけない場合があります。
5. サービスが **インストールされた** ら、**View in console** をクリックし、サービスにアクセスします。

1.2. クラスターにインストールされたサービスへのアクセス

サービスをクラスターに正常にインストールすると、OpenShift コンソールでサービスにアクセスできます。

前提条件

- OpenShift Dedicated クラスターにサービスが正常にインストールされている。

手順

1. [OpenShift Cluster Manager \(OCM\)](#) の **Clusters** ページに移動します。
2. アクセスするインストール済みのサービスでクラスターを選択します。
3. **Add-ons** タブに移動し、アクセスするインストール済みのサービスを見つけます。
4. サービスオプションから **View on console** をクリックし、OpenShift コンソールを開きます。
5. 認証情報を入力して、OpenShift コンソールにログインします。
6. メイン画面の右上にある 3x3 マトリックスアイコンをクリックして、**Red Hat Applications** メニューをクリックします。
7. ドロップダウンメニューから開くサービスを選択します。新しいブラウザタブが開き、Red Hat Single Sign-On で認証する必要があります。

これでサービスにアクセスでき、この使用を開始できます。

1.3. OCM からのサービスの削除

OpenShift Cluster Manager (OCM) を使用して、OpenShift Dedicated クラスターからアドオンサービスを削除できます。

手順

1. [OpenShift Cluster Manager \(OCM\)](#) の **Clusters** ページに移動します。
2. 削除するインストール済みのサービスでクラスターをクリックします。
3. **Add-ons** タブに移動し、削除するインストール済みのサービスを見つけます。
4. インストール済みのサービスオプションからメニューをクリックし、ドロップダウンメニューから **Uninstall add-on** を選択します。
5. 表示される確認メッセージで、削除するサービスの名前を入力する必要があります。
6. **Uninstall** をクリックします。**Add-ons** タブに戻ると、削除したサービスオプションにアンインストールの状態アイコンが表示されます。

1.4. CLI からのサービスの削除

アドオンサービスは、OCM CLI を使用して OpenShift Dedicated クラスターから削除できます。

手順

- OCM CLI を使用してクラスターからアドオンサービスを削除するには、以下のコマンドを入力します。

```
$ ocm delete api/clusters_mgmt/v1/clusters/<cluster_id>/addons/<addon_id>
```


第2章 OPENSIFT DEDICATED で利用可能なアドオンサービス

OpenShift [Cluster Manager](#) コンソールを使用して、既存の OpenShift Dedicated クラスターにサービスを追加できます。

2.1. RED HAT OPENSIFT API MANAGEMENT

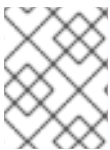
Red Hat OpenShift API Management サービスは、OpenShift Dedicated クラスターのアドオンとして利用できます。Red Hat OpenShift API Management は、3scale API Management プラットフォームをベースとした管理 API トラフィック制御および API プログラム管理ソリューションです。Red Hat OpenShift API Management には、全社的な SSO ソリューションとしてではなく、API および API 管理のセキュリティ確保および保護するための Red Hat Single Sign-On の実装が含まれています。

関連情報

- [Red Hat OpenShift API Management](#) ドキュメント一覧

2.2. RED HAT CODEREADY WORKSPACES

Red Hat CodeReady Workspaces サービスは、OpenShift Dedicated クラスターのアドオンとして利用できます。CodeReady Workspaces は、クラウドネイティブ開発をチームにとって実用的なものにする開発者ツールであり、Kubernetes とコンテナを使用して、開発チームまたは IT チームのメンバーに一貫性のある事前設定された開発環境を提供します。開発者は、Red Hat OpenShift で実行するコンテナでコード、ビルド、およびテストを作成できます。



注記

OpenShift Dedicated でこのサービスを使用する場合、CodeReady Workspace は **openshift-workspaces** 以外のすべての namespace にデプロイできます。

関連情報

- [Red Hat CodeReady Workspaces Operator](#) ドキュメント